

附属幼稚園だより 第6号

令和4年8月31日発行 文責:室野亜津子

「したい 知りたい やってみよう」
がっぱいの幼稚園

幼稚園が始まりました

新型コロナウイルスが爆発的に増えて、気の休まらない夏休みでした。10万人当たりの患者数は全国4位の日もあり、いかに長崎県が多いかを実感しました。医療従事者の方々の緊張感とひっ迫感はとてつもないだろうと想像します。

昨年度は、コロナ感染の状況を踏まえ、夏休み明けに附属学校園は休園・休校という措置をとりました。しかし、長引く感染状況から、文部科学省から「地域の実情に応じて、感染拡大の防止と学びの継続の両立に取り組んでいただくようお願いします。」と通知が出されました。また、「学校で児童生徒等や教職員の新型コロナウイルスの感染が確認された場合の対応ガイドライン(令和4年8月改訂版)」の中で、学級閉鎖について以下のように示されました。

【学級閉鎖】

○以下のいずれかの状況に該当し、かつ、学級内で感染が広がっている可能性が高い場合、学級閉鎖を実施する。

- ①同一の学級において複数の児童生徒等の感染が判明した場合
- ②感染が確認された者が1名であっても、周囲に未診断の風邪等の症状を有する者が複数いる場合
- ③その他、設置者が必要と判断した場合

○上記において、「複数」としている趣旨は、人数に着目したものではなく、学級内における感染拡大を防止する観点であることから、例えば同一の学級において、複数の児童生徒等の感染が確認された場合であっても、その児童生徒等の間で感染経路に関連がない場合やそのほか学級内の他の児童生徒等に感染が広がっているおそれがない場合については、学級閉鎖を行う必要はない。

○学級閉鎖の期間としては、5日程度(土日祝日を含む。)を目安に、感染の把握状況、感染の拡大状況、児童生徒等への影響等を踏まえて判断する。

ただし、上記において未診断の風邪等の症状を有する者や濃厚接触者の検査の陰性が確認できた場合等には、当該期間を短縮するなど、柔軟な対応を行うことが可能である。

附属幼稚園で濃厚接触者や陽性者が出た場合、大学に報告しています。また、附属学校とも情報共有し、附属での広がり具合を勘案して、対策や措置を決定しています。

今後とも、本人や家族の健康観察を十分に行い、発熱や風邪症状がある場合は登園を控え、早めの受診をお願いします。また、登降園時や育友会活動のときなど、保護者同士の距離の取り方や換気に注意して行動してください。「万が一、自分が無症状の陽性者だったと後から分かって、だれかに感染させた可能性は低い」と思えるような行動を常日頃から心掛けておくことが大事です。

もっと遊ぼう

もっと遊ぼうでの密を避けるため、当分の間、次のように変更します。

火曜日；年長・年少 木曜日；年中と年少の弟妹

子どもたちが遊んでいる間、保護者の方が近い距離で長くお話ししている様子が見られます。感染防止のため、保護者同士の距離をとってご参加ください。

附属幼稚園卒園児のいいところ

附属幼稚園と附属小学校がしっかり連携をとり、よりよい子どもの育ちや学びにつなげようと「幼小連携会議」を行いました。その会議の中で「附属幼稚園出身と他園出身の子どもと比べて違いはあるか」と尋ねてみたところ、次のようないい点が挙げられました。

①勢いがある ②自分の好きなことがある ③自分の考えをもち、発言できる ④人と違う意見に対し、周りの子どもが受容的な態度で受け止める ⑤失敗を失敗と思わず、失敗したら、ではどうしたらいいか（どうすればよかったのか）ということを考えることができる ⑥分からないと言える ⑦表現することに強い

これらは、まさしく、今の教育に大切な「生きる力」で、私たちが育てたかった姿です。予測不能な未来を生きる子どもたちが、自分の力でたくましく未来を切り開いていけるように。

幼児期は人格の基礎を培う大事な時期と言われています。附属幼稚園の教育目標「『したい 知りたい やってみよう』がいっぱいの幼稚園」はちゃんと成果を出しているのだと、嬉しく思いました。

後援会費ありがとうございます

後援会費として納めていただいている中から、毎年大学に委任経理している経費で、古い滑り台を撤去し、新しい滑り台を設置することにしました。工事はまだ先ですが、子どもたちの喜び顔が目に見えます。

